

事業所名

こども発達サポート運動療育型  
放課後デイサービス ロジコ

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		全ての人にとって適切で自由な『健康』の選択を										
支援方針		学校以外の集団行動が出来る場や居場所をつくってあげることで、障害を持つ子どもたちが集団生活への適応訓練の機会を得ることが出来、また、一時的にケアを代替えることでご家族の日々の疲れ等をリフレッシュしてもらうことも出来るようになります。										
営業時間		平日	10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	(送迎範囲あり)
		学校休校日	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで				
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンカチを常に持つこと、石鹸をつけて20秒洗うこと、ハンカチで拭き切ってからドアノブを触ることを見守りにて伝えて、手洗いの習慣化を図ります。</li> <li>身の回りのお片付けや、必要なもの不要なものを区別できるようにしていきます。</li> <li>運動で程よい疲労感を得て良質な睡眠を取り生活リズムの形成を行います。</li> </ul>										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育で行う運動を1ヶ月クールで実施し、体育のつまづきを軽減を目的としています。(鉄棒・縄跳び・マット運動・球技・走行運動・跳躍運動など)</li> <li>体幹トレーニングを実施し、姿勢の維持ができるようにします。運動療育だけでなく、自由時間の宿題や書く作業をしている際にもお腹に力が入られるようにします。</li> <li>さまざまな運動を提供して感覚刺激を入れ複数動作や、上肢下肢の運動ができるようにします。</li> </ul>										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやつのお金を使用し、お買い物感覚でお金の概念を学んでいきます。</li> <li>口頭指示、集団指示に対して理解して行動ができるようにします。難しい場合は、指示を分解して理解して繋げていきます。</li> <li>見通しを立てて行動ができるよう時計を見て行動を行っていきます。</li> </ul>										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手にどのように言えば自分の思いが伝わるのか、専門的支援を通して伝え方のバリエーションを増やしていきます。</li> <li>相手の表情を見て感情を汲み取ることができるよう、まず表情を見ながら話をするとところから始めていきます。</li> <li>具体的に話すことができるよう文章の構成を学んでいきます。</li> </ul>										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団での運動療育での、説明している人を見て話を聞き理解ができるようにします。</li> <li>協調性を養う運動を提供し、お友達と協力をして達成感を得たり、リーダー性を養っていきます。</li> <li>他者との距離感を図り、パーソナルスペース外で関わりが持てるようにします。</li> </ul>										
家族支援		保護者会や参観を行い、お悩み事や近況状況を聞く機会を作ります。定期面談以外でも、お困り事があれば個別で対応し、アドバイスを行います。				移行支援		地域で開催されるイベントに参加をして地域住民の方と交流を図ります。				
地域支援・地域連携		学校や併用されている施設と共通認識、理解ができるよう連携を図ります。				職員の質の向上		年1回会社全体での会議を開催 毎日、昼礼・終礼を行い状況把握を全員が行います。				
主な行事等		季節ごとの運動イベント（ハロウィン・クリスマス・体力テスト） 公園や郊外イベントの参加 心理師による専門的な療育。										